

寒さが厳しくなって来ましたが、保護者の皆様はいかがお過ごしですか。

11月は6日に30周年記念として坂本達氏に来ていただき、貴重な経験談から“相手の大切にしていることを大切にすること”や“挨拶”が人と共に生きる上でいかに重要であるかなどを感じた生徒が多かったように思います。又、18日には道徳の授業を公開し多くの先生方が参観される中、生徒達が先生の話に集中して聞き入る様子や、手を挙げて積極的に発言するなど素晴らしい姿が各学級で見られました。参観に来られた先生方から、生徒達の意欲的な姿勢に感心する言葉をたくさんいただきました。教職員一同、あらためて生徒達の前向きな姿勢と頑張りに感心しました。

全学級が違った教材で授業をしたので、すべての学級の感想文を載せることはできませんが、精一杯考えを深めてくれた感想を1部ではありますが紹介したいと思います。



～各学級の教材とテーマ及び授業者～

学 級	教 材 名	テ ー マ	授 業 者
やまびこ	ともだち	友情	山岡 佐江子
1-1	おばあちゃんの指定席	思いやり	伊佐 綾子
1-2	いつわりのバイオリン	弱さの克服	塚田 礼子
1-3	手品師	誠実	厚地 英人
2-1	リクエスト	弱さ醜さの克服	吉川 みさき
2-2	加山さんの願い	社会への奉仕	杉田 篤彦
2-3	2枚の写真	感謝	西川 優子
2-4	最後の年越しそば	思いやる心	佐飛 泰成
3-1	埋み火	温かい人間愛	佐々木 道恵
3-2	風に立つライオン	理想の実現	北村 誠治
3-3	元さんと2通の手紙	法の遵守	村田 寿美子

やまびこ・・・「ともだち」

～授業感想～

1年生のときも、この「ともだち」を読みましたが、3年生の今の方がずっと友達がいていいところ、たのしいところ、なぐさめられることがわかります。

1年生

1年1組・・・「おばあちゃんの指定席」

～生徒感想～

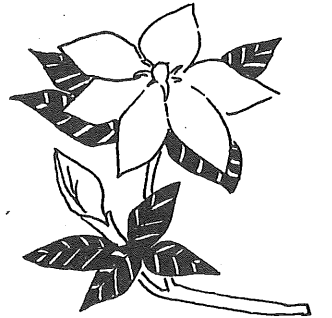
・私は、電車で席をかわったことは、一度しかありません。いつもかわってあげようと思ってから、やっぱり恥ずかしい気持ちになって止めることがあります。それでも、決心してかわってあげたときの「ありがとう」という言葉を今でも忘れません。人に良いことをすることは、大切です。私も小さな気遣いを大切にしていきたいです。

・優子は本当に優しい子で、すごいなあと思いました。おばあちゃんの指定席を守るために必死に頑張った優子が、指定席を守れなくてもおばあちゃんは笑顔で許してくれたし2人は本当に絆があっていいなあと思いました。「思いやり」ってすごく大切なものだなあと思いました。私も「思いやり」を大切にできる人になりたいと思いました。

1年2組・・・「いつわりのバイオリン」

～生徒感想～

・今日の授業で人間のもっている弱さや強さがよく分かった。誰でもウソをついたりすることがあると思います。でもその中で、どういうふうに関わり合っていくかが大切なことではないかと思いました。これからどんなことがあっても、フランクのように立ち上がって前向きに生きていければいいと思いました。



・フランクはラベルをはがして自分の物にしてバイオリニストにあげてしまって、とても罪悪感で一杯になったと思います。でもロビンが故郷に帰ってしばらくしてから手紙が届き、ロビンはフランクを越える音が出なく、すごく憧れていました。それを見たフランクはとても悲しかったと思います。色々なことがあり最後にはそれを乗り越えて新しく最初からバイオリンを作ったんじゃないかと私は思いました。

1年3組・・・「手品師」

～生徒感想～

・今日は誠実について学びました。話にでてくる手品師は誠実な人だと思いました。自分にとっての大きなチャンスがきても約束を優先してきっぱりと断った所が凄いいと思いました。私も自分のことだけでなく周りの人を助けられる人になりたいです。

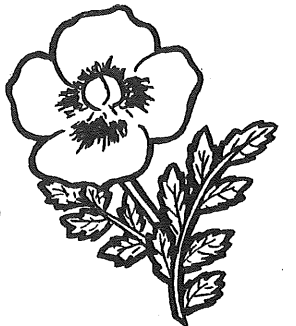
・誠実というのは聞いたことがあっても意味を深く知らなかったのが急に誠実とは？と聞かれるとすごく悩みました。でも知らないままこの授業を受けるとすごく考えることができたし、誠実という本当の意味を辞書で調べるよりもっと知れたと思います。手品師が選んだ行動は、男の子のために自分の夢を捨ててまでやったことだし、本当に良い判断だと思いました。

2年生

2年1組・・・「リクエスト」

～生徒感想～

*生徒達には、嘘のメッセージでのリクエストを取り上げてくれ、ガンで亡くなった岩田さんに宛てて、手紙を書いてみようという内容で書いてもらった文です。



～岩田さんへ～

- ・友だちがガンだとウソをつき、岩田さんの良心を仇で返してしまった事。本当に申し訳ない思いでいっぱいです。岩田さんは見ず知らずの僕たちを信用し、心配し、リクエストを流し続けてくれたんですね。もう二度と、自分を恥じなければならないようなウソはつかないと約束します。そして、僕たちを心から信用してくれた岩田さんのような人になりたいです。

- ・僕は「注目されたい」とか「ライバルを見返したい」という思いのために、ウソをついてだましていました。内容にインパクトがあれば取りあげてくれると思い、ウソや欲張りすぎていて今では後悔しています。本当にだましてごめんなさい。もし、岩田さんがガンだと知っていたら、こんなことはしなかったかもしれません。でも、やってしまったことはどうしようもないので、これからは正直にまっすぐ生きていきたいと思います。

2年2組・・・「加山さんの願い」

～生徒感想～

- ・ボランティア活動には、やってあげるとか、自分はいいいことをしていると思うことよりも、相手を良い気持ちにさせてあげようという気持ちがあった方がうまくいくんだなと思った。相手の気持ちを考えてあげることも大切だと思った。
- ・ボランティアをするにはやっぱり人との接し方、相手の気持ちを考えなければいけないと思った。自分はやってよかったと満足していても相手はすごく気をつけているかもしれないし、いろいろ難しいなと思った。でも、そういう仕事だからこそ感じるものもあると思う。やっている人は相手から「ありがとう」とか言われたらすごく心温まると思うし、どんな人とでもつながりを持てるボランティアはすごくいい事だと思う。



2年3組・・・「二枚の写真」

～生徒感想～

- ・「二枚の写真」を読んだあと「あ～このお話とてもいいな」と思いました。もし私が浩の立場なら毎日泣いていたかもしれない。みんなと同じように出来ないことを一生苦しんでいるかもしれない。そんな浩を支える同級生のみんな、そして先生が自然と拍手ができるという事はとてもすごいと思います。私だったら、みんなに「本当にありがとう」と泣いて、笑っていると思います。



- ・浩のクラスメイトは全員が思いやりがあってすごくいいクラスだと思う。浩は「写真を撮ってください」と言った時、自分はみんなと一緒に卒業できないと思っていたけれど、屋上にみんなが自分一人のために集まってくれて、感謝の気持ちでいっぱいだったんだと思う。ずっと病室に見舞いに来てくれた、とても優しく思いやりのある友だちに「ありがとう」と思ったのだと思った。

2年4組・・・「最後の年越しそば」

～生徒感想～

- ・父は自分が2ヶ月しか生きられないと知っているのに、周りを気にかけて行動するのはふつうは出来ないと思う。私だったら、あと2ヶ月しか生きられないと知ったら、周りのことを気にしてなんかいられずに自分のことばかり思うと思う。父はどんな時でも人に優しくする気持ちがとても強かったんだと思った。私もこの筆者の父のような、優しくて思いやりのある人になりたい。

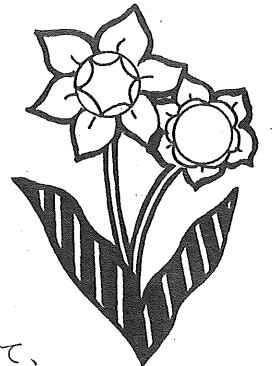
- ・今日の話は、悲しいけれど何か暖かみもぐっと心に響いてくる優しい話でした。父のとった行動は、悩みに悩み抜いてとった行動だと思います。そんな行動は、きっと筆者の京子さんだけでなく、見た人のすべての人の心に残されていくと思いました。父は、命がもう少しで終わるのに、その残り時間を自分のためでなく、老人たちのために使うなんてすごいと思います。私だったら、死の恐怖でたぶんそれどころじゃないと思いました。

3年生

3年1組・・・「埋み火」

～生徒感想～

- ・純子は今までは、表面上でしか表せないことばっかで、納得することができなかったけど、女将さんに出会って、心の温かさを知って、少し見方が変わったんだと思う。もし女将さんに出会ってなかったら、ずっと腑に落ちないままで、モヤモヤしたままだったと思う。埋み火みたいに表面じゃなくて、中で、見守るみたいな中からの温かさが必要なんやって気づけたんだと思う。だから、これからも、そういう風な視点で生きていけると思う。



- ・患者さんの手をにぎってあげることでは、患者さんの命を救うことはできなかったけれど、患者さんの心を救うことはできたと思う。純子さんの手をにぎるという行動は、初めのころのような、言葉だけのうわべだけの優しさとは違って、埋み火のように見た目にはわからないけど、心の中はちゃんと温まっているからできたことだと思う。

3年2組・・・「風に立つライオン」

～生徒感想～

- ・しんどいことに立ち向かって、それを乗り越えた時に、前より強い自分がいたり、達成感を味わえたり、つらくても負けないことが人間として大きくなれるんだと思う。けどこの人はそんなもんじゃないんやと思う。毎日異国で必死に暮らして、何を得たかも分からない時があるんじゃないかと思った。それでも、人や自然と触れる中で、幸せな瞬間を感じたり、それを幸せと言えたり、かっこいいと思う。

- ・異国で1人、医者をするなんてすごく勇気がいることだし、本当にすごい人だなあと思った。言葉も通じなくて、大変なことも不安なこともいっぱいあると思うけど、そんな中でも前向きに押しつぶされないように生きていこうと思えることが素晴らしい。

3年3組・・・「元さんと2通の手紙」

～生徒感想～

- ・私は将来、動物園の飼育係になりたいです。この話は、その事とあまり関係はないのですが、この話に込められた想いというのが深く感じました。姉弟を思う元さんの心、母の思い、姉弟の思いです。この話には想いがたくさん詰まっていました。私が元さんと同じ立場だったらどうするか、どうしたらいいか迷うはずですが。でもこの人は、自分をとるのではなく姉弟をとりました。自分が、この道を選んだとしても後悔しない道を選んだのです。自分の誠を信じて…。私は、この人のような自分の意見をまっすぐに、道を選んでいきたいです。

- ・元さんの気持ちはすごくよく分かる。毎日子ども達が来てたんだから、入れてしまうのは仕方ないと思う。でも、ルール違反はルール違反だし、解雇処分という結果も否定できない。元さんがはればれした顔をしたのは、子どもたちの家族の喜びや幸せが、ルール違反をして解雇になっても納得できるほどの価値があったからじゃないかと思った。